

学校法人 札幌白ゆり学園
認定こども園札幌白ゆり幼稚園

令和7年度 学校関係者評価 結果

評価者 : 札幌白ゆり幼稚園 保護者会

5…十分に達成できている 4…達成できている 3…取り組めている

2…取り組めているが、十分な結果がでない 1…取り組めていない

0…わからない

	評 価 項 目	評 価
1	札幌白ゆり幼稚園は明るく活気がある	4. 9
2	幼稚園の教育活動について共感できる	4. 6
3	幼稚園では特色ある教育活動で成果をあげている	4. 7
4	子育て支援事業は充実している	4. 7
5	幼稚園内の環境整備が行き届いている	4. 5
6	園児は幼稚園行事にいきいきと取り組んでいる	4. 6
7	教職員は一人、ひとりの園児を大切に指導をしている	4. 3
8	教職員は地域の方に対して常識ある行動をしている	4. 1
9	地域の方は幼稚園の教育活動に協力している	4
10	安全、安心、防災、防犯に対する取り組みをしている	4. 2

自己評価結果公表シート（年少）

札幌白ゆり幼稚園

1. 園の教育目標

- ・人間が人間として生きていくための力（自立）を育てる。
- ・幼児にふさわしい集団生活という環境を与えることによって、『自立・自主』の心を育て、人間としてふさわしい人格形成の基礎を育てる。
- ・『心の力』『体の力』『学ぶ力』を育てる。
- ・『あたりまえ10箇条』を柱とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って評価をし、各教師が自園を客観的に見ることによって、改善し更なる向上を目指す目標とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評 価 項 目	取 組 み 状 況
集団生活における基本的生活習慣を身につける	日々できなかったことも粘り強く取り組み、成功体験を積み重ねていった。
教師の指示に従って行動出来るようにする	お話を聞く姿勢などを徹底し、分かりやすく伝えた。
園外保育での活動をスムーズに出来るようにする	園外保育でのお約束を何度も確認し、お並びや集合を身につけた。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける（1学期）	子ども様子を共有し、次につながるレベルアップを考えた。
保護者へ子ども達の成長をアピールする（行事を通して）	行事の過程をおうちへんを通して配信し、子どもたちの成長をたくさん共有した。
「ルール」に対する意識改革（ゲーム等遊びを通して）	簡単なゲームから徐々にルールが増えるゲームに展開していった。
クラス全体のレベルアップ	学年全体で連携をとり、クラスの垣根を越え協力して取り組んだ。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける（2学期）	1学期で培った能力をさらに活かし、普段の活動に見通しを持って計画、実践した。

クラス全員が出来ることを増やす	子ども一人一人の意欲を引き出し、挑戦する楽しさや達成感を味わえるように個別に関わり支援を行った。
年中に進級する為の基礎作り	基本的な生活習慣の定着を図り、様々な活動に主体的に取り組んだ。
毎日継続することの大切さを体験させる	逆立ちスタンプカードを作り、毎日の取り組みでできるようになったことを一緒に喜んだ。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける (3学期)	活動ごとに目的を定め、進級を意識して、クラス全体の成長とレベルアップを目指した。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
A	職員間で目標や計画を共有し、一人一人に寄り添った保育を行った。日々の活動を通して、子ども達の意欲や自信が育ち、成長につながった。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
朝の身支度	身支度の必要性や意味を繰り返し伝え、自発的に行動できるよう促す。

自己評価結果公表シート（年中）

札幌白ゆり幼稚園

1. 園の教育目標

- ・人間が人間として生きていくための力（自立）を育てる。
- ・幼児にふさわしい集団生活という環境を与えることによって、『自立・自主』の心を育て、人間としてふさわしい人格形成の基礎を育てる。
- ・『心の力』『体の力』『学ぶ力』を育てる。
- ・『あたりまえ10箇条』を柱とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って評価をし、各教師が自園を客観的に見ることによって、改善し更なる向上を目指す目標とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
集団生活における基本的生活習慣を身につける	毎日の積み重ねを大切に指導してきた。
自分で考え行動出来る環境設定を心掛ける	黒板に1日の流れを書き、子どもたち自身が自発的に行動できるようにした。
クラスのレベル、個人のレベルを把握しそれに応じた保育展開	個々の目標票を明確にし、1人1人に合ったやり方で無理なく達成できるよう努めた。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける（1学期）	新しい環境を楽しみ、子どもが生き生きと過ごせる保育を設定した。
保護者へ子ども達の成長をアピールする（行事を通して）	おうちえんを通して、活動の様子や練習風景を見てもらい過程を伝えられるようにした。
心の揺れ動きを実体験させる	達成した喜びや、失敗してもお友達を応援する気持ちなど、様々な感情を分かち合った。
クラス全体のレベルアップ	学年全体で1つ目標票を定め、月ごとに振り返りをしながらレベルアップにつなげた。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける（2学期）	大きな行事に向けてクラスや学年がひとつになって活動し、学年全体で喜びや楽しさを味わった。

個人のレベルアップに重点を置いたカリキュラム作り	クラスの枠を越えて情報を共有し、日々継続出来るような環境を作った。
年長に進級する為の基礎作り	現年長児の姿から、期待や意識などを高められるような声かけをした。
毎日継続することの大切さを実体験させる	逆立ちや読み書きなどの課題活動を通して、達成した時に保育者やお友達と喜びを分かち合った。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける（3学期）	来年度に向けて、自信を持って進級できるように声かけをした。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
A	学年全体で協力し合い、様々な経験を通して子どもたちが自信を持って生活できるようにした。 その中で、お友達を応援する気持ちが芽生え、成長を感じられた。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
リーダーとしての自覚と自信を持つ	自ら決めた目標に向かって、努力し達成できるようにその場に合った声かけをしていく。

自己評価結果公表シート（年長）

札幌白ゆり幼稚園

1. 園の教育目標

- ・人間が人間として生きていくための力（自立）を育てる。
- ・幼児にふさわしい集団生活という環境を与えることによって、『自立・自主』の心を育て、人間としてふさわしい人格形成の基礎を育てる。
- ・『心の力』『体の力』『学ぶ力』を育てる。
- ・『あたりまえ10箇条』を柱とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って評価をし、各教師が自園を客観的に見ることによって、改善し更なる向上を目指す目標とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評 価 項 目	取 組 み 状 況
集団生活における基本的生活習慣を身につける	これまでの経験を生かし、生活習慣の定着を意識し子どもが主体的に行動できるよう関わった。
年長児（リーダー）として自覚を持たせる	行事や日常の中で役割を意識できるよう促し、年長児としての自覚や責任感を育てた。
様々な体験から物事に対する自信を持ち課題に対する意欲を育てる環境設定	成功体験だけでなく挑戦の過程を大切にし、自信や達成感につながるよう関わった。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける（1学期）	基本的生活習慣や集団でのルールを見直し、自分で行動できる力を育てた。
保護者へ子ども達の成長をアピールする（行事を通して）	日々の様子を丁寧に伝え、安心して預けてもらえる関係づくりを意識した。
出来ることをどんどんさせお手伝いの場を与える	子ども自身が考え、行動する機会を増やし、主体性を引き出した。
自ら意欲的に環境設定出来るような関わり	子どもの興味や発達に応じた環境設定を意識し、遊びが広がるよう工夫した。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける（2学期）	行事や活動を通して役割を持ち、責任感や協力する力を育てた。

就学に向けての意識向上を心掛ける	小学校週間として時間割や当番活動を経験し、小学校への興味・関心を持たせた。
幼稚園生活の思い出作りの場作り	日々の遊びや行事を通して、友達と関わり、楽しさや達成感を味わえるようにし、心に残る経験となるよう関わった。
毎日継続することの大切さを体験させる	身支度や当番活動などを行う中で、積み重ねの大切さや、自分でやり遂げる力が育つよう援助した。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける (3学期)	小学校への期待を高めながら、話を聞く姿勢や時間を意識した行動など、小学校に向けた生活習慣が身につくよう関わった。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
A	年長児のカリキュラムの具体的な目標や計画に基づき、日々の保育を振り返りながら実践することができた。 課題を明確にし、改善を意識して取り組むことで、保育の質の向上につなげることができた。また、継続して振り返ることで自身の保育を見直す機会となった。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
書き順	ワークやプリントを活用しながら 繰り返し取り組めるようにする。